

# 時代と共に進化しつづける “なんでも屋”

株式会社 松本製作所

常にニーズに応える姿勢

松本製作所はフィルム成形加工を看板事業としている。薄型フィルム打ち抜き技術の巧みさと、金型設計から納品までを一貫して行うことが売りだ。また、それが間接コストの削減や、発注者との機密保持を可能にし、顧客との信頼関係に繋がっている。

創立は1957年。最初は切削が主力な事業分野だった。それから新たな取り組みであるフィルム加工を開始。20年前には切削を全

面廃止し、フィルム加工を中心に  
行う会社となった。

現在メインで扱っているのは液  
晶関連部品、医療機器部品、電子  
機器部品だ。

液晶にもいろいろあるが、最近  
は特に携帯電話、テレビ、パソコ  
ン用品への需要が高い。

同社では32インチなどの大型液  
晶関連部品の製造にも対応してい  
る。かつては軽薄短小路線が主流  
であった。しかし最近では景気回復  
傾向も手伝い、大型テレビやモニ  
ターへのニーズが高まりつつある。

コンパクトを追求してきた  
会社が今の傾向についてこ  
れなくなってきたというな  
か、小さいものでも大きい  
ものでも柔軟に対応できる  
というのが同社の強みだ。

## 計算し尽くされた 加工技術

ミクロン単位の数百個の  
穴が規則正しく並ぶ約30cm  
四方のフィルム。医療機器  
に使われる部品だ。同社が  
労苦の末に開発した製品で  
ある。用途が用途だけに、  
製品の精緻さがより求めら

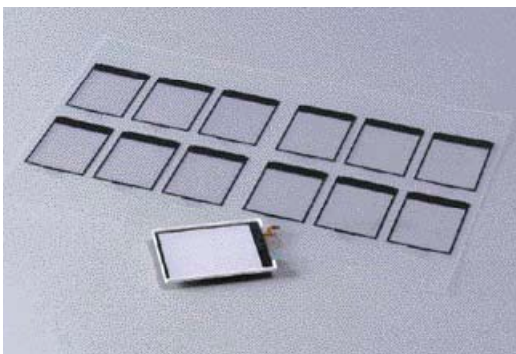


製品に厳しいチェックの眼が入る。

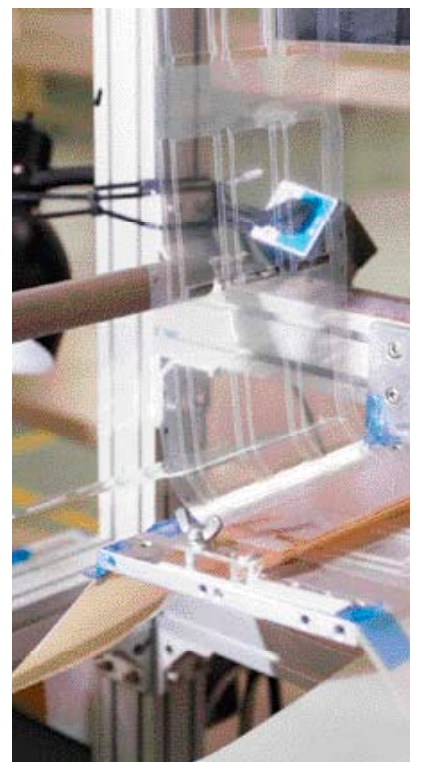
れるが、同社はそこにも抜かりは  
ない。

通常、薄いフィルムに同時に数  
百個の穴をプレスすれば、かなら  
ず歪みが生じる。一個一個空け  
ばできないことはないが、それを  
1回のプレスで、しかもすべて同  
じ大きさでできるのが同社のす  
ごいところだ。

また、工法のみならず素材に対  
しても研究を怠らない。穴は抜い  
た直後では違う大きさだが、実際  
に使用する際は図面と寸分違わぬ  
寸法で固定されている。依頼者の  
要望にあくまでも忠実に応える  
という姿勢がここでも貫徹されて  
いる。



サイズも自在に製作できる遮光テープ。



フィルム加工の一過程。

「うちは基本的に加工屋なん  
です。困ったことがあったらなん  
でも言ってください」と管理本部の  
柳井一伸氏。

日本は昔から資源に乏しい。そ  
れゆえ加工技術が発展したのであ  
る。

「お客さんの要望に沿い、技術力  
で答えを出していく」ということ  
が同社の営業手法だ。

## これからの展望

フィルム加工が中心の同社だ  
が、今後の狙いは、「経営の柱を  
増やし強くすること」だという。

今までの薄いフィルムのみなら  
ず、より分厚いシートの打ち抜き  
技術も開発中だ。切削で行う場合  
のコストを考えればプレスによる  
打ち抜きは経済的だ。

またフィルム以外にも得意な分  
野を増やすつもりだ。取引先の要  
望が移り変わりつつある。たとえ  
ば携帯電話にしても続々と新しい  
機種が生まれている。国外市場も  
強大化を辿っている。そのような

時流の変化にあっても、持ち前の  
技術力と、顧客のニーズになん  
とでも応えようとする精神で、松本  
製作所はこれからもフィルム分野  
に限らず柔軟に進化しつづけてい  
くだろう。

編集部／青木理恵子

## Company Profile

株式会社 松本製作所

所在地：大阪府摂津市東別府 5丁目 1-40

TEL: 06-4862-8883 FAX: 06-4862-8884

担当者：管理本部 柳井一伸

事業内容：フィルムラミネート加工、プラスチック多孔体試作、治工具製造

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?77981>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「松本製作所」で  
検索できます。

本誌付録の「ザ・日本製造業パワーアップ CD-ROM」にて、  
同社のホームページをご紹介します！

